



去年、京都の大階段で自分の高所恐怖症（漢字あってます？）が治ってなかったことが発覚して、今年それを再確認しました👤

でも楽しかった！写真ほしいな～(\*^\_^\*)下さいね！

私は2日間だけの参加になってしまいましたが、とても楽しい2日間でした。

行って良かったです！

去年の人たちにも会えて、新しく知り合った人たちと会えて、去年も、今年もこのホーム

ステイに参加出来たことは、自分にとってとてもためになったと思います。

ぜひ来年もお願いしますね。

とても楽しい2日間をありがとうございました！

そして、電話で参加のあとおしを下さってありがとうございました。

ギリギリまで返事待ってもらってすみません。

めっちゃ楽しかったです！

感想文をおわります。

長くなってごめんなさい。

A

Y先生 わざわざ図書カードありがとうございます(\*^\_^\*)

3日目行けなくてごめんなさい。

でも2日間は本当に良かったです！！

さそってもらってありがとうございました。

行ってからも色々ありがとうございました！

楽しかった。

これは、前回（町家合宿 in 京都 10 参照）冒頭部分のみ紹介した A さんの感想文の後半である。A さんがこの時参加したのは 2 泊 3 日のうち最初の 2 日間、しかも町家には宿泊はしなかった。それでいて、A さんが「長くなって」と書いているように、たくさんの出来事とその時の思いがひとつひとつ丁寧に綴られていた。

#### ☆A さん町家に泊まらずに帰る

迷いながらも 1 日目に参加した A さんは、町家に泊まらないという選択をした。それは、1 日目に参加するとき、私の方から提案したものだったように記憶している。できることなら全部参加してほしかったのは言うまでもないが、迷いながらも電話口で参加表明して

くれた A さんの様子や、待ち合わせ場所に現れた A さんの様子を見て、これは絶対無理はさせられないなと思ったからである。参加を促しながら、家に帰ってもいいと言うのは矛盾しているようにも思える。しかし、昨年にもまして不安と緊張のかたまりだった A さんにとって、町家に泊まることができなくても、全部の行程に参加しなくても、町家にこれた、参加したいという意思を示してくれただけで意味があるように思えたのである。

### ☆A さん 2 日目の参加

A さんが来てくれただけで嬉しいし、来てくれただけで何か意味がある、とは思っていたものの、私は正直、一度家に帰った A さんが、また 2 日目に町家に来てくれるのだろうか心配していた。町家合宿の 1 日目は、夕方から町家でゆっくり過ごし、残り 2 日間の行程を決めるというスケジュールなので、A さんもそれなりにのんびりしながら周りとのコミュニケーションを取り、徐々に緊張もほぐれている様子であった。しかし 2 日目は例年参加者の行きたいところや、大学見学、古着交換などを詰め込むのでかなりのハードスケジュールになるし、それは A さんも予想していたことだと思う。A さん、明らかに体調も悪そうだったし、今日は来れなくてもしょうがないかなあ、、と覚悟をしていた私の予想を裏切って A さんは朝の出発時間に来てくれた。

感想文を読み返してみると、やはり体調は相当悪かったようだが、昨年も一緒に活動していたボランティアと話すことや、古着交換について、緊張しながらも楽しみにしていた様子がわかる。そしてボランティアともすぐに打ち解けて、古着交換でも私に「つきまとって（というほど私はつきまとわれている感じはしなかった）」と言いつつ、ワクワクしながら熱心にペアの服を選んでいたのである。

そして、みんなと銭湯には行かず、それまで「つきまとっていた」私とは別行動で、町家で鍼灸マッサージを受けて他のボランティアと一緒に京都駅で待ち合わせをした様子が楽しげに書かれている。



参加者が鍼灸マッサージを受ける様子



いつも鍼灸マッサージが行われる部屋から見られる坪庭の風景

#### ☆A さんにとっての参加の形

当時、A さんの参加が 2 日間であったことで、私はどこか申し訳ない気持ちになっていた。無理やり参加させてしまったのではないか、そして 2 日間無理をさせてしまった結果しんどくなって 3 日目は無理になったんじゃないか、もっと何かサポートできていれば、3 日目も参加出来たのではないか、、などなど反省することも多々あった。

そんな私への気遣いなのかもしれないが、A さんは長文で、2 日間でも楽しかったという気持ちをたくさん綴った感想文を書いてくれた。思い返せば 1 年目は、町家に泊まったものの、ほとんど眠れなかった A さんが、町家に泊まらないことで家で眠れたとすれば、それは A さんにとっては良い選択だったのかもしれないと思う。

#### ☆リピーターは一部参加も OK

A さんなりの形で町家合宿に参加してくれたこのとき以降、町家合宿の一部参加もそれなりに受け入れるようになった。

参加者それぞれの目的にあった町家合宿の参加の形があつてよいと思うし、そう思えるのは、町家合宿が毎年やっているからであると思う。毎年同じことを同じ場所でやる、その中で全て参加するもしないも参加者に自分と向き合いながら自分の行動を決めてもらう。これも町家合宿の 1 つのテーマである自己決定を促していることになっているのだろうと思っている。

しかしながら毎年初参加のメンバーもいるので、その時々で予想もしなかったことが起きる。それをヒヤヒヤしながらも、参加者にはもちろん、私自身が楽しむことを続けてい

けたらと思っている。

最近の町家合宿では特にリピーターの参加者は、一泊だけなど一部参加も多い。初参加は高校時代で、今や社会人という参加者もいるので、同窓会のような雰囲気に来てくれているのは、私にとっては町家合宿を続ける楽しみの一つになっている。



Aさんが怖がっていた京都の大階段を登りきって見える風景